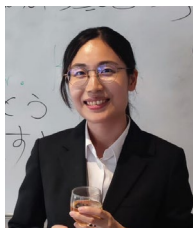


古橋知樹



2020年3月に東工大修士課程を修了し、2020年8月よりシンガポール南洋理工大学の博士後期課程へ進学。専攻は物理学で、研究内容は超短パルスレーザーを用いた二次元ペロブスカイト発光材料の光物性測定。学部時代には国際開発プロジェクトを複数立ち上げ、フィリピン、スリランカなどアジア各国での現地調査やWorld Toilet Summitをはじめとした海外の学会に複数参加した。趣味はアニメ、ゲーム、ライフハックで、ウィンドウショッピングも好き。

石曾根香菜



2019年度東工大物質理工学院材料系にて修士課程を修了し、2023年9月にフランスのストラスブール大学にて化学物理学専攻の博士課程を修了。東工大学士課程の時にオーストラリア超短期派遣、台湾科技大学サマープログラム、ASPIREリーグUGRAに参加しました。その後、修士1年時にシンガポールの南洋理工工学にて3か月間の研究留学を経験することで、海外で博士課程を取得することに興味を持ちました。2024年1月からアメリカのシカゴ大学にてポスドクに就く予定です。